

中心となる語や文の把握 通過率25.2%

三 次の文章を読んで、あとの問いに答えましょう。  
 (文章中の○から⑦は段落の番号です。)

① 平成二十五年九月に行われたオリンピックの開催地を決定する会議で、滝川クリステルさんが東京の良さを訴えるスピーチをしました。その中で滝川さんは、「おもてなし」という言葉を取り上げました。そして、その言葉には、訪れる人を心から大切に思い、お迎えするという深い意味があり、先祖代々受け継がれ、日本の文化にも深く根付いている言葉であると紹介しました。

② わたしたちが当たり前に行っているこの「おもてなし」は、日本を訪れた外国人からみると、当たり前ではなく、日本の「おもてなし」に感動する人も少いようです。では、外国人は、日本の「おもてなし」のどのようなところに、感動しているのでしょうか。

③ また、トイレの美しさにも感動するそうです。清潔に保たれているだけでなく、花が飾ってあったり、はきものがすぐ使いやすいようにそろえてあったりするからです。これらには、トイレを使う人に気持ち良く使ってもらいたいという心がこめられています。

④ 和食のレストランに入ったときには、季節を感じさせる料理や食器などにも感動するそうです。これらには、お客様に味だけでなく、季節感や見た目の美しさも楽しんでほしいという料理人の心がこめられています。

⑤ これらの例から、外国人は、「おもてなし」から日本人の相手思いや親切な心に感動していると考えられます。

⑥ 世界の人も感動させる「おもてなし」は、茶道という古くから伝わる日本の文化にもみることが出来ます。茶道は、庭や部屋のすみずみまで美しく整え、お茶とおかしなどもてなす日本の文化の一つです。この茶道から「一期一会」という言葉が生まれました。「一期一会」には、一度かぎりの出会いを大切に、まごころをこめて人と接しようという気持ちがこめられています。この「一期一会」の心で、日本の「おもてなし」の原点だといえるのではないのでしょうか。

⑦ このように「おもてなし」は、わたしたちの心に深く根付いている日本の文化であり、相手を思いやる心の表れなのです。わたしたちは、世界にはこれだけの文化として、「おもてなし」の心を、これから大切に、引き継いでいきたいものです。

3 次の文は、「おもてなし」について、文章どどのように書いてあるかをまとめたものです。  
 ○と□に入るものをかきまわし、言葉を、文章中から抜き出して書きまわしなさい。

「おもてなし」は、相手思いやの□である。  
 □な心の表れであり、世界には□である。

ここを読むだけでは十分ではない。「おもてなし」に関わる情報を関連付けながら読む。

児童は最後の段落に着目して「おもてなし」についてまとめようとする。しかし、そこを読むだけではまとめるのに必要とされる言葉が足りず解答できない。⑤段落が中まとめになっていることをとらえ、そこからも「おもてなし」に関わる情報を取り出し、最後のまとめと関連付けながら読む力が必要である。

内容の系統

第1・2学年  
読むこと  
時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと。

第3・4学年  
読むこと  
目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読むこと。

第5・6学年  
読むこと  
目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながら読んだりすること。

	主な解答例	割合 (%)
○	親切, 日本の文化	25.2
×	「親切」と解答しているが、「日本の文化」と解答していないもの	34.9
×	「親切」と解答していないが、「日本の文化」と解答しているもの	11.2
×	上記以外の解答	25.6
—	無解答	3.1

提案

目的に応じて中心となる語や文をとらえる学習を仕組みましょう。

単元を貫く言語活動を設定し、児童が目的に応じて中心となる語や文をとらえながら文章を読む学習を仕組むことが必要です。例えば、「おもてなし」をキーワードに、児童の知りたい、考えたいという思いを膨らませ、「わたしたちのできる『おもてなし』について考えよう」といった単元を貫く言語活動を設定します。その上で文章を読ませ、「おもてなし」に関する複数の情報が文章中に書かれていることに気付かせます。それらを取り出させ、関連付けながら記述させるとともに、それを基に自分たちの生活と関連付けさせたり、自分の考えを述べさせたりする学習を展開していくことなどが考えられます。